

平成30年度 事業報告

鈴鹿市シルバー人材センターでは、少子高齢化が全国的に進む中、高齢者に対して、長年培った豊かな経験と知識、技能を活かすことのできる就業機会を提供し、高齢者の社会参加を図ることにより、健康の維持・増進や生きがいづくりを促進するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与してきました。

平成30年度は、平成29年度に策定しました「中期計画」に基づき事業に取り組むとともに、会員と役職員が一丸となって事業拡大を図るべく諸施策を講じてまいりました。

特に、「会員の拡大」「就業機会の拡大」「安全就業の徹底」等を重点項目として各種事業に取り組みました。

会員の拡大では、定例の入会説明会に加え、地域に出向いて入会説明会を開催しました。また、市内配布の無料情報誌や鈴鹿市老人クラブ連合会広報紙等でPRして会員確保に努めた結果、会員数は、中期計画の平成30年度末の目標値である850人を上回る869人に達しました。

また、就業機会の拡大では、計画的かつ定期的な事業所訪問等を行うことにより、受注開拓に取り組むとともに、ホームページにおいて、会員によりきめ細かく情報提供できるよう就業情報を見直すとともに、新たに発注者用の「仕事依頼フォーム」を開設し、会員、発注者双方の利便性の向上を図りました。

こうした取り組みにより、現役世代の下支えや人手不足分野における就業対策であるシルバー派遣事業では、昨年度に比べ大幅に契約額が増加しました。

安全就業対策としては、安全適正就業委員会で計画した安全就業パトロールや職群班による安全講習会を実施し、会員の安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めましたが、残念ながら就業に係る事故は、昨年度を10件上回る40件発生しています。

また、安定した事業運営を続けていくために、「適正就業の徹底」、「組織体制の強化」等に取り組むとともに、計画的かつ効果的に事業運営を行い、活力ある地域づくりに貢献する、魅力あるシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

以下、平成30年度の事業実施状況と事業実績について、次のとおり報告します。

I 事業実施状況

(1) 就業機会の拡大と提供

会員及び入会申込者の就業機会を確保するため、就業機会創出員を4名配置し、事業所を訪問することにより新たな就業先の開拓に努め、平成30年

度は29件の新規契約を確保しました。

また、事業所にシルバー事業啓発のためのメモ帳を配布するとともに、適正就業ガイドラインの説明を行い、請負や派遣業務における就業先の開拓に努めました。

(2) 会員の増強

シルバー人材センター事業の発展は、会員の増強と就業機会の拡大にあります。

このことから、平成30年度は箕田、若松、庄野、井田川、長太、一ノ宮の6か所の各公民館を会場として、総務部会委員の参画のもと、地域説明会を開催するとともに、毎月1回、定期的にシルバーのしくみを説明する入会説明会を開催しました。

また、民間情報誌等を活用して会員募集を行うなど、一層の会員確保に努めました。

併せて、(1)の就業機会の拡大と提供、(7)の技能講習の開催の取組みを通して、入会者の増加を図りました。

(3) 福祉・家事援助サービスの推進

少子高齢化の進展に伴い、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加する中、平成29年度から始まりました鈴鹿市の介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスB）については5件実施しました。

また、さらなる受注の増大に備え、質の高いサービスを提供するために、関係機関・団体等との情報交換や企業訪問、リーダー会議等を通して、発注者や就業会員の多様なニーズの的確な把握に努めました。

(4) 普及啓発活動

センター事業の目的や事業内容を広く市民に周知するため、以下の普及啓発活動を行いました。

1. 会報「シルバーすずか」を年2回（8月、12月）発行するとともに、全国シルバー人材センター事業協会の機関誌(月刊シルバー人材センター)を関係機関等に配布しました。
2. 市広報「すずか」10月5日号に、特集記事を掲載しました。
3. 新聞等報道機関に当センターの様々な取組みを情報提供しました。
4. 「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」にショッピングセンター4か所で普及啓発用チラシを配布するとともに、市立図書館において社会奉仕活動（除草清掃ボランティア）を実施しました。
5. ホームページのコンテンツを見直し、市民や会員用の「就業情報」の改良や発注者用の「仕事依頼フォーム」を新たに設けるなど、ホームペ

ージの有効活用に取り組みました。

6. 就業を通じた普及活動として、ネーム入りベストの着用や会員のロコミによるPRを推進しました。

(5) 安全適正就業と健康管理

安全就業と健康管理のために、次の取り組みを行いました。

全会員を対象とした安全就業大会では、高齢者の交通事故等が多発していることから、鈴鹿警察署職員による「高齢者の交通安全について」の講演会を開催し注意喚起を図るとともに、日常の健康管理の一助として健康体操を行いました。

職群班による安全講習会では、作業中の事故防止の徹底と安全意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業委員会で計画した安全就業パトロールを実施して、就業現場での指導、助言に努めました。

さらに、新たな会員を対象に行う就業説明会においても、安全適正就業について説明を行いました。

しかしながら、就業中の事故発生状況を見ると、物損事故は昨年度と比べて11件増え26件発生しています。

なお、就業形態の適正化を図るために、請負から派遣への切換えについても取り組みました。

(6) 教育訓練の充実

就業中の会員を対象に、必要な知識を習得し、安全で適正な就業を行うための講習会、研修会を開催しました。

1. 接客業務従事者を主な対象とした接客マナー研修
2. 運転業務従事者を対象とした交通安全講習

(7) 技能講習会の開催

当センター主催の独自講習会を開催するとともに、シルバーでの就業を希望する市民を対象として、就業に必要な知識及び技能を付与することを目的とした高齢者活躍人材育成事業技能講習を三重県シルバー人材センター連合会と共同で実施しました。

1. 独自講習会
剪定技能講習・パソコン等講習・ライフサポートサービス講習（料理・健康体操・健康講座）
2. 高齢者活躍人材育成事業技能講習会
公園施設管理剪定・施設調理補助・サービス業接客マナー・介護補助員（パソコン基礎含む）

(8) 中期計画の検証

平成29年度から実施している中期計画に基づいた事業の進捗と目標値の達成状況を検証するため、中期計画推進委員会を開催し、各事業の課題と今後の展開について検討しました。

(9) 調査研究活動

各種機関・団体が主催する会議や研修会・講習会等に会員・役職員が参加し、情報交換を密にするとともに、事業運営に必要な知識の取得、資質の向上を図りました。

また、センターの運営の参考とするため、茨木市シルバー人材センターへの視察研修を実施するとともに、求人開拓と企業情報の把握のために、就業機会創出員が関係団体の研修会に参加しました。

さらに、シルバー派遣事業の充実を図るために、関係団体が開催する研修会等に職員が参加し、能力の向上を図りました。

(10) 組織体制の強化

シルバー人材センターの自主運営体制を推進するため、会員組織の充実や機能強化を図りました。

特に、職群班はセンターの理念である「自主・自立、共働・共助」を支える重要な組織として位置付け、リーダー会議等を通して職群班の運営・活動の充実に努めました。

また、地域班設立準備のための調査、研究を行いました。

(11) 地域貢献の推進

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」期間中において、公共施設の除草清掃ボランティアを実施するとともに、福祉・家事援助サービス班による除草清掃ボランティア活動を実施しました。